

## 5. 計画の進捗管理

計画策定後も PDCA サイクルにより、各機関による対策の進捗管理及び達成状況を確認し、計画の改善を図り、早期に事業効果の発現が図れるような体制を整える。

### 計画(Plan)

「山ノ井川・宇田貫川総合内水対策計画」において、各対策の事業計画、スケジュール等を整理する。

### 実施(Do)

国・県・市・町の各対策の実施主体が、事業計画、スケジュールに基づき対策を実施し、一体となって目標の達成を目指す。

### 評価(Check)

各対策の進捗状況、工程管理等のチェック、対策間の連携・調整を図るため、必要に応じて、フォローアップのための会議等を開催し、実施状況の確認・進捗の調整等を行う。

### 改善(Action)

評価に基づき、取り組みが遅れている施策などが確認された場合は、課題の抽出、課題解決に向けた対策案の立案などを行い、改善を図る。

## 6. 今後の対策検討について

近年、全国各地で豪雨等による水害や土砂災害が頻発していることなどから、国土交通省においては、気候変動に伴う降雨量の増加等を踏まえた今後の取り組み方針が検討されており、中小河川を含めた治水計画に係る方向性が今後示される可能性もある。

山ノ井川流域及び宇田貫川流域においても、これまで以上の降雨が今後発生することが考えられるなか、そのような国の動向を注視し、また、今後の浸水対策に係る技術開発にも目を向け、本計画に位置付けた対策の実施と併せて、更なる対策の追加や計画の見直しを含めた検討についても、必要に応じて関係機関が連携し取り組んでいく。